

～中小企業トータルサポート～中小企業・小規模事業者の元気再生へ

1 取組みの概要

山形県の企業数の99%以上が中小企業、そのうちのおよそ9割が小規模事業者であり、中小企業・小規模事業者は県内産業の原動力となっています。中小企業・小規模事業者は大企業に比べ迅速な意思決定や機動的・柔軟な対応が可能という強みを持つ一方、研究開発や人材育成など、自社のレベルアップのために必ずしも十分な経営資源を割くことができないという弱みを有しています。このような中小企業・小規模事業者にきめ細かな支援を行うことで、国際競争の激化や原材料高騰など厳しい経営環境の中にある中小企業・小規模事業者の元気再生を図ることが重要です。

県では、中小企業・小規模事業者の稼ぐ力の充実・強化を図るため、平成29年度から「中小企業スーパーサポート補助金」を創設しました。これは、中小企業・小規模事業者が行う研究開発、設備投資、販路開拓の取組みに要する費用の一部を助成し、中小企業の付加価値額の向上及び小規模事業者の持続的発展を後押しする事業です。

そのほか、県内での新たな起業を目指す方の支援や後継者への事業承継支援等、幅広く中小企業・小規模事業者の支援を行っています。

2 担当職員へのインタビュー

中小企業振興課
企業振興担当

主事 石澤 安美
【採用職種：行政】



Q 現在の担当業務を教えてください

「中小企業スーパーサポート補助金」の運営、中小企業向けの事業資金の貸付や貸付後の債権管理、景気動向の調査等を行っています。また、定期的に県内企業を訪問し、会社の状況や課題について話を聞きながら中小企業支援制度の案内をしています。

Q 皆さんへのメッセージをお願いします！

県職員に必ずなりたいと思っている方、この仕事に合っているのだろうかと不安になっている方、様々な思いの方がいると思います。この時期は私も悩みが多くありましたが、今は時間をかけて将来について考えることのできた貴重な時間だったと思っています。

県職員の仕事は多分野にわたるので、興味のある分野もあまりイメージがわからないと思う分野も、積極的に様々な仕事について調べ、じっくり考えてみてください。

Q 仕事のやりがい・魅力は何ですか？

県内企業を訪問するようになり、「自社が元気になることで、山形県を元気にしたい」「山形県には素晴らしい技術をもった会社がある」と、熱い気持ちを持った経営者の方たちと出会うことができました。最初はその勢いに圧倒され、ただ話を聞くことで精一杯でしたが、その会社の製品や技術を知り、経営者の方の魅力に触れるうちに、微力でも県内企業の力になりたいと実感するようになりました。実際に会社の課題等を聞きながら「中小企業スーパーサポート補助金」をはじめとした支援制度を紹介し、利用していただいた企業の方から「来てくれてよかった」と言われた時には、大きなやりがいを感じました。

